

第16表

社会福祉施設数、収容者数

本表は生活保護法、児童保護法等によるもので各年とも12月末現在のものであるが、児童相談所は12月中の受付件数である。

施設別	昭和43年						昭和44年					
	施設数			収容人員			施設数			収容人員		
	総数	民営	公営	総数	民営	公営	総数	民営	公営	総数	民営	公営
総数	661	328	333	49 210	26 796	22 414	693	332	361	54 137	28 592	25 545
養護老人ホーム	25	14	11	2 602	1 551	1 051	25	14	11	2 771	1 639	1 132
救護老人ホーム	9	6	3	610	455	155	8	5	3	655	465	190
更生施設	6	4	2	882	712	170	6	4	2	840	600	240
宿舎提供施設	15	11	4	1 386	1 056	330	11	10	1	2 113	1 933	180
授産施設	4	-	4	132	-	132	3	-	3	155	-	155
医療保護施設	16	14	2	1 992	1 801	191	16	14	2	2 697	2 447	250
婦人保護施設	4	4	-	255	255	-	4	4	-	255	255	-
乳児院	7	7	-	243	243	-	6	6	-	249	249	-
養護施設	40	34	6	3 118	2 645	473	40	34	6	3 288	2 698	590
精神薄弱児施設	9	7	2	550	390	160	10	8	2	581	421	160
精神薄弱児通園施設	5	2	3	203	63	140	4	1	3	170	50	120
教護施設	2	-	2	354	-	354	2	-	2	374	-	374
肢体不自由児施設	3	3	-	240	240	-	2	2	-	330	330	-
盲児施設	2	2	-	64	64	-	2	2	-	80	80	-
虚弱児施設	1	1	-	70	70	-	1	1	-	75	75	-
児童厚生施設	22	10	12	-	-	-	22	11	11	-	-	-
助産子施設	21	9	12	135	85	50	28	11	17	163	97	66
保育所	22	10	12	793	548	245	21	7	14	504	294	210
児童相談所	414	174	240	34 219	16 039	18 180	440	178	262	37 125	16 000	21 125
児童相談所	8	-	8	-	-	-	8	-	8	-	-	-
身体障害者施設	8	3	5	222	30	192	9	3	6	180	37	143
精神薄弱者援護施設	3	1	2	242	32	210	5	2	3	322	62	260
内部障害者更生施設	1	1	-	80	80	-	1	1	-	80	80	-
特別養護老人ホーム	5	4	1	552	198	354	6	5	1	680	380	300
軽費老人ホーム	4	4	-	239	239	-	5	5	-	300	300	-
老人福祉センター	4	3	1	-	-	-	6	3	3	-	-	-
情緒障害児短期治療施設	1	-	1	27	-	27	1	-	1	50	-	50
重症心身障害児施設	-	-	-	-	-	-	1	1	-	100	100	-

資料 大阪府民生部民生総務課、婦人児童課、大阪市民生局庶務課。

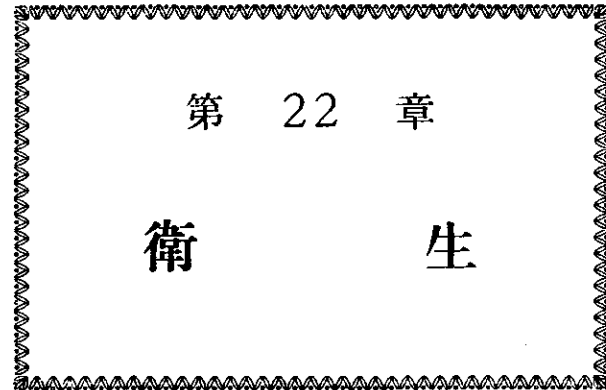
第17表

共同募金額・配分額

各年とも募金額には前年度配分不要繰越金・配分額には経費充当額・次年度運動準備金・繰越配分額が加えられていない。
注) 昭和43年度の配分額において項目の分類方法が変わったため総額と各項目の合計は一致しない。

募金区別	募金額				配分先別	配分額			
	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度		昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度
総額	139 713	115 946	139 413	179 695	総額	117 514	96 346	120 789	160 757
戸別募金	87 061	78 880	91 149	96 201	社会福祉施設	29 565	31 566	47 913	73 422
法人募金	6 895	6 500	9 800	61 488	保育所託児所	4 625	8 174	4 000	4 469
学校職域募金	6 846	3 950	4 843	5 175	隣保館児童館遊園地	3 348	5 443	3 209	3 055
街頭募金	6 793	3 109	4 454	5 459	社会福祉事業団体	2 230	400	500	2 650
パッチ収益金	15 429	9 097	11 000	11 005	府市社会福祉協議会	7 158	5 700	6 270	6 270
その他	16 689	14 410	18 167	367	更生援護資金	7 796	8 970	5 730	5 730
					地域社会福祉協議会	48 792	35 994	54 815	65 061
目標額	75 780	81 000	130 000	140 000	らい患者慰安費	14 000	100	100	100

資料 社会福祉法人大阪共同募金会。



第 22 章

衛 生

病院、病床の概況

府下の昭和44年末医療施設の総数は8,294施設で、前年末より154施設の増加である。これを種類別にみると病院は総数で428施設で、そのうち一般病院は377施設(38.1%)で大半をしめ、ついで精神病院は38施設(8.9%)で1施設の増加をみたが、結核療養所は10施設(2.3%)で1施設の減少であった。これは疾病構造の変化にともなう施設の増減とみられる。また人口10万対病院数は、病院総数では5.7、一般病院では5.1などであり、1病院あたりの人口は病院総数で1万7000人、一般病院では2万人である。

ついで一般診療所数は5,509施設で前年末にくらべ137施設(2.6%)の増加である。人口10万対の一般診療所数は74.0で、1診療所あたりの人口は約1,400人である。歯科診療所数は2,357施設で、前年末にくらべ18施設(0.8%)の増加である。人口10万対の歯科診療所数は31.6施設で、1診療所あたりの人口は約3,200人である。

全施設の病床数は76,088床で、前年にくらべ2,178床(3.0%)の増加である。人口10万対の病床数は1,021.6で、全病床数のうち、88.8%が病院、11.2%が一般診療所の病床である。また病床の種類別に病床数をみると、一般診療所の病床を含めた一般病床が64.6%をしめ最も多く、ついで精神病床が19.0%、結核病床が15.1%で、前年との比較では精神病床の増加も最も大きく4.8%、ついで一般病床の4.5%となっている。また逆に減少傾向を示しているものは、結核病床の4.5%となっている。

在院患者数は延2006万8115人で1日平均5万4981人で、これを人口10万対でみると738.2人で府民135人のうち1人は入院していることになる。在院患者延数を病床の種類別にみると、精神病床571万1756人、結核病床317万5295人、伝染病床1万4998人、一般病床1116万6,066人で、一般病床を利用した患者が55.6%を占め、ついで精神病床の28.5%、結核病床の15.8%となっている。

新入院患者延数は40万3002人、退院患者数40万2003人で1日平均1104人、1101人である。病床の種類別でみると一般病床の新入院、退院患者数が最も多く、それぞれ93%程度を占めている。これは一般病床を利用する患者の平均在院日数が特殊病院に比し、著しく短いことによる。

外来患者延数は2691万1361人で府下の病院1日あたりの平均外来患者数は7万3729人で人口10万対1日あたりの外来患者数は990人となり府民101人に1人は毎日病院外来で診療を受けていることになる。

医師等の数

医師総数は8,998人で前年末より322人(3.7%の増加)で、医師1人あたりの人口は328人(前年838人)である。人口10万対医師数は昭和33年の147.0を最高にその後低下の一途をたどり、昭和43年末には119.3となったが、44年末はわずかながら上昇し120.8となった。また歯科医師数は2,916人で、前年末にくらべ82人(2.8%)ふえ、人口10万対でみると医師同様よこばい状態で44年末の39.2と殆んど変わっていない。薬剤師数は7,169人で前年末より83人(1.2%)増加している。また人口10万

対薬剤師数は96.3(前年97.4)で薬剤師1人あたりの人口は1,039人(前年1,026人)となっている。

死亡の概況

本府の昭和44年の死亡率は戦後の昭和22年は14.5と高率であったが、生活環境の改善、医学の進歩、公衆衛生の発展により急激に低下し、昭和44年の死亡数4万0789人口1,000対死亡率5.5とかなり低率である。

また昭和43年1月から死因分類が改正されたが、これにより死因別死亡数をみるとトップは脳卒中、次にガン、心臓病、不慮の事故、老衰と続き、27年まで長くトップの座を占めていた結核は年々低下、43年には7位にまで下った。毎年赤痢が中心の法定伝染病は、44年にはしょう紅熱が赤痢を上廻る発生をみせ、その他のインフルエンザは昨年の7割に減ったが、食中毒が一躍3.5倍にも増え5,869名の患者を出した。また死亡率を府下市町村別にみると、門真市2.3河内町3.0寝屋川市3.5と低く熊取町10.3河内長野市9.9太子町9.9と高率である。

伝染病患者の概況

府下における伝染病発生届出総数は2万8159人でその内訳は法定伝染病355人、指定伝染病1人、届出伝染病3525人、性病2,143人、結核22,131人、らい4人である。43年にも比較して4,631人の著しい減少であるが、これは赤痢、インフルエンザ、ましん、性病、結核の減少によるものである。これを内訳別にみると法定伝染病では前年と比較すると234人の減少で、その大半をしめる赤痢の減少が厚因で、昭和43年には358人の届出に対し44年には82人と約4分の1以下となっている。また指定伝染病では急性灰白髄炎において毎年100人以上あった発生届出数が本疾病は36年6月より全国的に実施された経口生ワクチン投与の予防措置により急激に減少した。これにより37年は患者数10人り患率0.2以下という低発生届出数である。昭和44年も患者数1人(0.0)で、この傾向は本府のみでなく全国でもはつきりとその傾向がうかがえる。

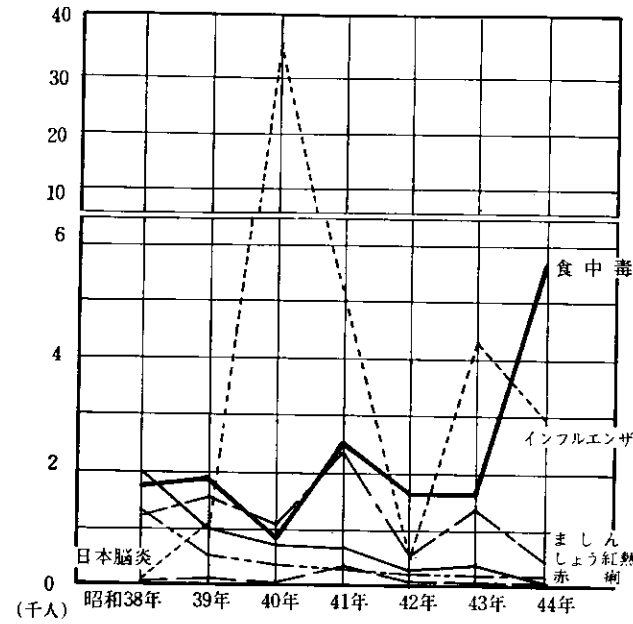
児童、生徒の体格

本年度における府下の生徒、児童、幼児の発育状況をその最も顕著な男子13才、女子11才を例にとって昭和30年と比較してみると、男子では身長8.7cm、体重6.9kg、胸囲4.6cm、座高4.0cm、女子では身長6.6cm、体重4.6kg、胸囲3.4cm、座高3.0cmといずれも伸びている。また児童、生徒の体格を都道府県別の平均値でみるとかなりの差があり、身長、体重とも最高は東京、最低は鹿児島となっており、グループにおいても上位は東京、神奈川等で下位は鹿児島、宮崎等となって、地域的の変化が目立っている。

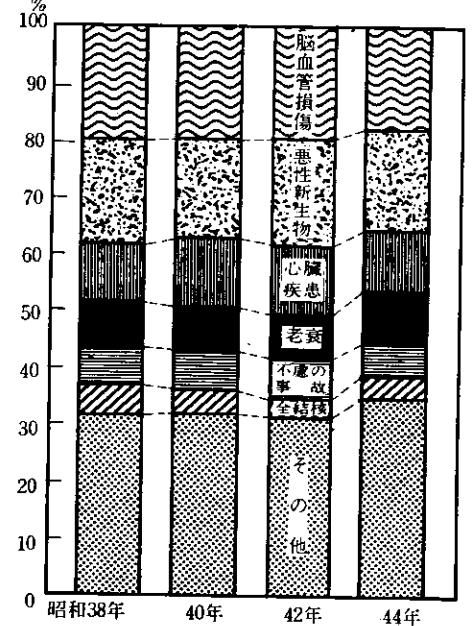
公害の概況

大気汚染、水質汚濁をはじめとする公害が国民生活に重大な問題となっているが当府でも積極的に公害防除体制を整え、この追放に力を注いでいる。昭和44年の府下の陳情件数は264件で昨年(559件)よりはかなり下廻っているが、騒音によるもの66件(2.5%)で最も多く、続いてばい煙55件(21%)ガス54件(20%)、粉じん、排液の順となっている。

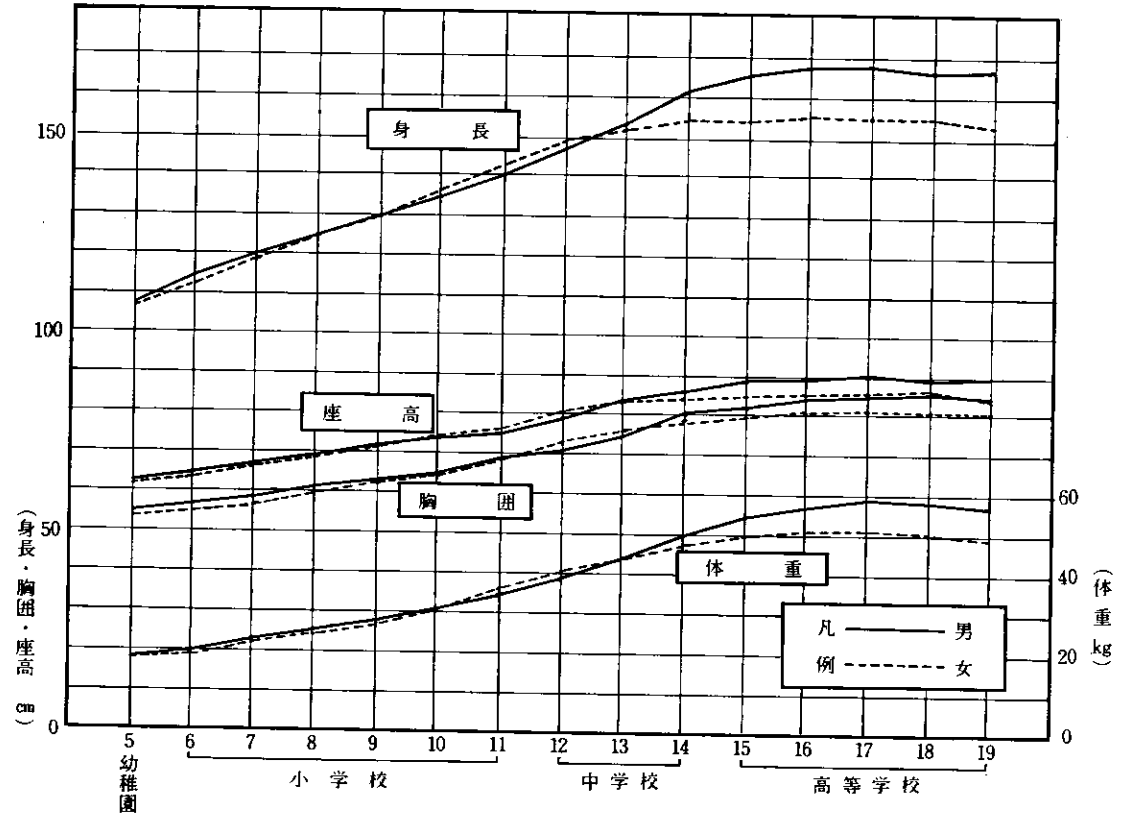
主な伝染病のり患数と食中毒数のうごき



死因構成の推移



年齢別にみた幼児・児童・生徒の平均体位(44年度)



第1表

病院・診療所数および病床数

本表の数字は「医療施設調査」によるものである。なお「病院」とは患者20人以上の収容施設のあるものをいい、「診療所」とは患者の収容施設をもたないもの、または患者19人以下の収容施設しかもたないものをいう。らい療養所は該当がないので省略した。各年末現在。

Table with columns for year, hospital type (General, Infectious, etc.), and bed counts. Includes data for 1940-1944.

資料 大阪府衛生部総務課「衛生年報」

第2表 医師・歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・獣医師数

本表の医師、歯科医師、獣医師数は医師法、歯科医師法、獣医師法にもとづくそれぞれの届出数を集計したものであり、歯科衛生士、歯科技工士数は、「厚生省報告例」によるもので従業地主義をとっている。ただし獣医師数は居住地主義である。各年末現在。

Table showing the number of medical professionals by year and specialty (Physicians, Dentists, etc.).

資料 大阪府衛生部総務課「衛生年報」、同農林部農畜産課

第3表 薬剤師・保健婦・助産婦・看護婦・準看護婦・看護人数

本表の薬剤師数は薬剤師法にもとづく届出数を集計したものであり、保健婦、助産婦、看護婦、準看護婦、看護人数は「厚生省報告例」によるものであり、いずれも従業地主義によるものである。各年末現在。

Table showing the number of various medical staff (Pharmacists, Midwives, Nurses, etc.) by year.

資料 大阪府衛生部総務課「衛生年報」

第4表 その他の医療、衛生関係従事者数

本表の診療X線技師、衛生検査技師数は「医療施設調査」による従事者、衛生管理者数は「労働基準法」による免許証所有の医師でない専任者、栄養士数は「栄養士法」による届出数を集計したものである。乳業士数は「乳業の販売及び取扱に関する条例」(大阪府)による甲種乙種の免許証所有者、眼鏡士数は大阪府衛生協会への登録者、調理師数は「調理師法」にもとづく免許証所有者、あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師数は「厚生省報告例」によるものである。各年末現在。

Table showing the number of other medical and health-related workers (Pharmacists, Dietitians, etc.).

資料 大阪府衛生部医務課、同食品衛生課、同予防課、大阪労働基準局。

第5表

病院の在院患者延数および病床利用率

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、在院患者延数は毎日午後12時現在に在院している患者数を1年分合計したもの。病床利用率は各年の(6月末在院患者数/6月末病床数)×100である。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table showing inpatient numbers and bed utilization rates by hospital type and year.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第6表

病院の新入院患者数および外来患者延数

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、外来患者延数は来院、往診、巡回診療をした患者延数で、同一患者が2つ以上の診療科で受診した場合それぞれ1として計上してある。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table showing new inpatient numbers and outpatient numbers by hospital type and year.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第7表

人工妊娠中絶件数

本表の数字は厚生保健法にもとづく医師の届出票を集計したものである。

Table showing the number of induced abortions by age group and year.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「人工妊娠中絶年報」

第8表

食品衛生関係営業施設数

本表の数字は大阪府内における許可を要する営業施設および要しない営業施設の数であるが許可を要しない施設については概数である。各年末現在。

Table showing the number of food hygiene related business facilities by type and year.

資料 大阪府衛生部食品衛生課「厚生省報告例」

第9表 と畜場・牛乳処理業数、と畜・乳牛検査頭数 および狂犬病予防状況、ねずみ捕獲数

本表のと畜場数、と畜検査頭数、狂犬病予防状況は「厚生省報告例」によるものである。ねずみ捕獲数は本府でまとめた数字である。

Table with columns for year, slaughterhouse numbers, dairy processing numbers, dog vaccination status, and rat capture counts.

資料 大阪府衛生部食品衛生課、同環境衛生課、同農林部農畜産課。

第10表 環境衛生関係営業施設数および従事者数

本表の数字は「厚生省報告例」によるもので各年末現在である。

Table with columns for year, accommodation facilities, public bathhouses, and various service providers like barbers and cleaners.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、大阪市衛生局環境衛生課。

第11表 環境衛生関係営業施設数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。但し、再生資源関係営業施設数は「大阪府再生資源営業取締条例」にもとづく許可施設数である。各年末現在。

Table with columns for year, crematoriums, animal shelters, and recycling facilities.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、大阪市衛生局環境衛生課「衛生行政業務報告」

第12表 結核予防法による健康診断状況

本表は「保健所運営報告」によるもので、結核予防法にもとづく定期、定期外の合計である。

Table with columns for year, health checkups, tuberculosis screening, and patient counts.

資料 大阪府衛生部予防課、厚生省大臣官房統計調査部

第13表 性病、予防接種、寄生虫、トラホーム予防状況

本表は「保健所運営報告」によるものである。予防接種被接種者数は予防接種法にもとづく定期、臨時の合計である。寄生虫検査の有卵者数のうち、1人で2種以上にわたるものはそれぞれに計上してある。

Table with columns for year, venereal diseases, vaccinations, parasites, and trachoma.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「保健所運営報告」

第14表 衛生検査延件数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table with columns for year, total tests, and various types of health examinations.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第15表 薬事関係業者数

本表欄頭の医薬品販売業のうち「一般」とは総ての医薬品について販売できる薬剤師の管理している業者「薬種商」とは法律に定められた指定医薬品を除くものの取扱をする薬種商の資格のある業者、「配置」とは置き薬として認められた置き薬業者「特例」とは法律で定められた特定の品目のみを取扱う資格を要しない業者（ ）内の数字は内数で衛生材料製造業

Table with columns for year, pharmacy types, and manufacturing/retailing numbers.

資料 大阪府衛生部薬務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第16表 麻薬中毒者数

本表は本府でまとめた数字であるが、昭和40.41.42.43年については、がんおよび結核末期のものを除いたものでいずれも年中の新規発見者の数である。

Table with columns for year, total cases, and age/gender distribution of drug addicts.

資料 大阪府衛生部薬務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第17表 個別健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

保健所運営報告によるもので、計数は各年中における保健所内および所外の合計である。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (回数), total staff (人員), and various categories of health services (結核, 成人病, 母子, 療育その他).

資料 大阪府衛生部衛生総務課。

第18表 集団健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

前表頭注参照。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (回数), total staff (人員), and various categories of health services (結核, 成人病, 母子, 療育その他).

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」

第19表

公害防止条例に基づく届出件数と公害防止陳情件数

本表は各年度ごとに本府でまとめたもので、41年より法改正のため内訳の名称が変つている。※印は昭和43年度のものである。

Table showing the number of notifications and public complaints under the Anti-Pollution Ordinance, categorized by city/town/village (市町村) and type of complaint (騒音, 振動, etc.).

資料 大阪府生活環境部公害対策課

第20表 スモッグ概況

本表中I型とは基準測定点3点(大阪府立公衆衛生研究所、大阪市立衛生研究所、堺中央保健所)のうち、2点以上の前日午前9時から10時の間に測定した亜硫酸ガスおよび無水硫酸の濃度がともに0.10ppmであるとともに、基準測定点のうち2点以上の前日午前9時から10時の間に測定した浮遊ばいじんの量がともに1mg/1m³以上であり、かつ当日早朝(午前6時)の風速が弱い(1.5m/sec以下)場合、II型とは当日早朝の風速が著しく弱い(1m/sec以下)場合ただし原則として当日早朝の天気が雨雪の場合を除く。III型濃霧注意報が発表された場合、IV型、当日早朝(午前6時)濃霧注意報が行なわれている場合、V型当日スモッグが発生し、その視程が500m以下でかつ風等の資料から濃霧(濃煙霧を含む)の持続が予想される場合、V型については昭和44年度よりなくなった。スモッグ情報発令回数については4月~9月分を省いてあるので合計とは合わない。

Table with columns for Year/Month, Smog Information (I-V types), and Smog Alert Duration (minutes). Rows include昭和40, 43, and 44 years with monthly breakdowns.

資料 大阪府生活環境部公害対策課、公害監視センター。

第21表 公害・苦情・陳情発生状況等

本表は昭和39年度中にあった陳情件数の合計である。

Table showing公害・苦情・陳情発生状況 (39年度) by Prefecture (府県). Columns include total number of cases and breakdown by category (Air Pollution, Water Pollution, Noise, Odor, etc.).

資料 厚生省。

第22表 大気汚染状況

本表は大阪府公害監視センター、大阪市公衆衛生研究所、八尾保健所、少林寺小学校で観測したもので、亜硫酸ガスは電気伝導法、浮遊粉じんはデンプル粉じん計による1時間毎の数値で日平均については16時間以上測定が行なわれたもので9月からは公害監視センターで取替ったものである。

(1) 亜硫酸ガス

Table showing SO2 concentrations (pphm) by observation point (府公害監視センター, 市公衛研, 八尾保健所, 少林寺小学校) across months from April to March.

資料 大阪府公害監視センター。

(2) 浮遊粉じん

前表頭注参照のこと。単位はmg/100m³

Table showing suspended particulate matter concentrations (mg/100m³) by observation point (府公害監視センター, 市公衆研, 八尾保健所, 少林寺小学校) across months from April to March.

資料 大阪府公害監視センター。

第 23 表

ごみ収集および処理状況

本表は昭和43年度中に取扱った合計で、本文中の計画収集量とは処理計画量である。

Table with columns for collection status (total, urban, direct, entrusted) and processing status (planned collection, incineration, burial, self-treatment). Rows include cities like 昭和42年度, 43, 昭和44年度, 大阪市, etc.

資料 大阪府衛生部環境衛生課。

第 24 表

し尿収集および処理状況

前表頭注参照のこと。

Table with columns for collection status (total, urban, direct, entrusted) and processing status (total, sewerage, treatment, etc.). Rows include cities like 昭和42年度, 43, 昭和44年度, 大阪市, etc.

資料 大阪府衛生部環境衛生課。

第 27 表

性病・結核・らい・食中毒患

前表頭注参照のこと。なお、全結核は本省発表の確定数であるが、その内訳は本府で集計したものである

年 月 中	性		病							
	総 数		梅毒		りん病		軟性下かん		そけいりんば 肉芽しゆ症	
	患 者	罹患率	患 者	罹患率	患 者	罹患率	患 者	罹患率	患 者	罹患率
昭和 40 年	723	10.9	317	4.8	395	5.9	11	0.2	-	-
41	1 277	18.7	577	8.4	680	10.0	20	0.3	-	-
42	2 170	30.1	866	12.3	1 243	17.8	61	0.9	-	-
43	2 388	32.0	1 028	14.3	1 310	18.0	50	0.7	-	-
昭和 44 年	2 133	28.8	911	12.2	1 198	16.1	24	0.3	-	-
44年 1 月	150	-	43	-	105	-	2	-	-	-
2	151	-	72	-	75	-	4	-	-	-
3	152	-	44	-	106	-	2	-	-	-
4	228	-	106	-	118	-	4	-	-	-
5	143	-	68	-	74	-	1	-	-	-
6	195	-	94	-	99	-	2	-	-	-
7	182	-	88	-	92	-	2	-	-	-
8	183	-	61	-	122	-	-	-	-	-
9	200	-	97	-	100	-	3	-	-	-
10	237	-	92	-	144	-	1	-	-	-
11	134	-	72	-	60	-	2	-	-	-
12	178	-	74	-	103	-	1	-	-	-

第 28 表

市 郡 別、年 齡 階

本表は「人口動態調査」によつた府下在住の日本人にかんするもので府外で死亡したのものも含まれる。

市 郡	総 数	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳
昭和 40 年	36 926	2 767	260	185	437	794	925	965
41	36 965	2 344	233	160	476	750	822	1 022
42	37 019	2 426	245	120	461	768	881	1 004
43	38 111	2 501	218	136	448	702	845	857
昭和 44 年	-	-	-	-	-	-	-	-
市 郡 部	36 580	2 417	207	135	432	680	821	826
大 阪	1 531	84	11	1	16	22	24	31
市 市	17 697	1 012	102	55	218	352	427	394
堺 市	2 715	164	14	8	23	36	53	58
和 田 市	1 045	50	8	4	15	16	22	24
豊 池 市	1 398	139	6	4	20	38	40	35
吹 田 市	414	21	1	-	7	2	9	8
泉 大 阪 市	1 041	79	2	5	11	22	21	34
高 津 市	296	19	-	2	5	6	1	3
尾 高 津 市	798	63	4	6	7	11	22	27
守 口 市	495	26	1	5	7	8	2	15
箕 面 市	662	46	4	2	6	5	12	15
方 田 市	713	54	7	-	9	15	22	19
南 大 阪 市	658	50	4	4	2	14	16	8
長 尾 市	983	85	7	-	8	16	19	13
野 衣 市	491	45	6	4	8	7	8	10
河 内 市	374	32	2	2	4	5	3	5
長 尾 市	657	76	1	4	22	26	2	7
長 原 市	313	22	1	-	2	1	2	7
松 原 市	461	49	4	3	5	8	8	11
大 阪 市	338	31	4	3	3	9	6	15
泉 南 市	584	30	4	3	9	6	13	15
大 阪 市	290	17	3	2	1	4	2	9
箕 面 市	252	16	3	-	2	6	3	5
野 衣 市	365	27	1	3	6	4	2	8
真 津 市	425	52	2	3	9	12	7	15
石 津 市	206	14	4	1	-	3	2	4
高 藤 市	273	19	2	1	3	3	2	6
寺 岡 市	209	20	4	-	1	3	2	4
東 三 田 市	2 427	159	9	10	32	50	54	47
北 河 内 郡	70	8	-	1	2	1	1	-
三 田 郡	138	4	-	-	1	1	-	5
北 河 内 郡	83	5	-	-	1	1	-	2
南 河 内 郡	645	26	5	-	5	8	7	13
河 内 郡	357	19	3	-	6	6	9	3
北 河 内 郡	238	22	2	-	2	3	9	8

資料 大阪府衛生部衛生総務課「人口動態調査」

者数、罹患率および死亡者数

るため、死者数の計は合致しない。罹患率は人口10万対である。

結 核		呼 吸 器		そ の 他		ら い		食 中 毒	
患 者	罹患率	患 者	罹患率	患 者	罹患率	患 者	罹患率	患 者	罹患率
33 027	496.1	1 851	30 526	-	1 778	2 501	-	73	14
30 192	442.0	1 719	27 617	-	1 847	2 575	-	72	12
26 719	380.1	1 553	24 086	324.6	1 488	2 633	37.5	65	17
24 106	324.8	1 504	21 910	-	1 429	2 196	-	75	14
22 131	297.1	1 424	20 089	-	1 360	2 042	-	64	4
1 573	-	143	1 419	-	136	154	-	7	-
1 755	-	138	1 578	-	127	177	-	11	-
1 751	-	131	1 582	-	129	169	-	2	1
1 874	-	106	1 684	-	103	190	-	3	-
2 096	-	97	1 883	-	92	213	-	5	-
2 074	-	110	1 869	-	105	205	-	5	-
2 160	-	122	1 982	-	115	178	-	7	1
1 904	-	116	1 735	-	112	169	-	4	-
1 881	-	123	1 714	-	118	167	-	5	1
1 815	-	120	1 672	-	111	143	-	9	1
1 762	-	119	1 615	-	116	147	-	3	-
1 486	-	99	1 356	-	96	130	-	3	-

級 別 死 亡 者 数

なお、昭和39、40年の数字は本府で集計した概数で住所地に紐替えのため作業におくれがあるので他の発表した数とは若干合わない。

35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	年齢不詳
1 061	1 128	1 357	2 150	2 815	3 681	4 360	4 515	4 196	5 309	1
1 146	1 130	1 406	2 009	2 919	3 655	4 534	4 543	4 393	5 420	3
1 166	1 187	1 261	1 821	2 802	3 571	4 506	4 844	4 435	5 517	4
1 130	1 261	1 361	1 920	2 869	3 683	4 608	5 034	4 624	5 887	27
1 101	1 214	1 307	1 850	2 752	3 560	4 419	4 834	4 414	5 587	-
29	47	54	70	117	123	189	200	210	302	-
565	658	643	983	1 437	1 838	2 249	2 338	2 033	2 371	22
78	76	83	121	190	242	357	397	347	459	-
27	30	39	53	75	90	133	142	144	173	-
32	54	51	67	91	122	170	168	154	206	1
13	12	26	25	29	28	46	49	58	80	-
35	27	33	37	85	102	100	140	130	178	-
10	13	7	19	31	32	34	43	27	44	-
17	21	29	38	52	95	87	88	101	126	4
14	18	18	22	34	48	53	59	77	88	-
13	9	27	40	25	13	69	64	88	97	-
28	31	25	25	43	50	84	110	72	119	-
25	22	23	23	49	48	73	69	87	141	-
30	36	30	38	72	96	98	111	125	199	-
7	13	16	22	40	38	58	61	65	83	-
8	5	17	12	21	34	41	50	54	79	-
24	14	17	23	36	59	57	92	85	88	-
8	8	9	14	19	23	33	49	48	67	-
12	12	21	23	42	29	48	61	57	68	-
9	11	11	14	20	40	42	46	36	47	-
17	19	26	32	44	59	70	83	50	104	-
5	8	1	11	20	28	31	39	44	65	-
8	7	14	14	17	23	24	32	31	47	-
7	10	8	12	19	39	45	52	60	62	-
10	11	20	32	26	37	39	41	41	66	-
12	4	9	7	18	15	20	32	26	30	-
5	6	13	12	19	26	40	33	41	42	-
4	11	8	9	12	20	17	33	23	40	-
73	73	83	122	177	230	306	328	301	373	-
5	4	3	2	4	4	6	8	7	14	-
1	1	4	5	14	10	17	20	20	36	-
4	2	4	7	10	8	11	4	6	16	-
7	21	24	35	42	59	80	92	87	128	-
6	9	14	10	36	17	49	49	54	68	-
6	10	5	11	11	25	26	27	36	40	-

第29表

月別、死因別

本表は「人口動態調査」によつた府下の日本人にかんするもので、府外で死亡したのも含まれる。昭和43

死 因	昭和40年	昭和41年	昭和42年	昭和43年	昭	
	総 数	総 数	総 数	総 数	総 数	1 月
総 数	37 497	37 563	3 7657	38 248	39 046	4 221
コ 腸 菌 性 赤 痢 吸 器 系 の 結 核	4	3	3	1	3	-
レ ン サ 球 菌 性 咽 喉 炎 お よ び 猩 紅 熱	7	6	3	7	4	-
フ ェ ー ア 下 痢 性 疾 患	579	572	518	331	331	39
メ ー バ 結 核	1 693	1 582	1 404	1 388	1 429	156
そ の 他 の 結 核 (後 遺 症 を 含 む)	109	96	68	66	71	5
ト ス テ 日 リ ア 咳 熱	-	2	3	-	-	-
フ ステ 日 リ ア 咳 熱	3	1	2	1	-	-
レ ン サ 球 菌 性 咽 喉 炎 お よ び 猩 紅 熱	2	1	1	-	-	-
髄 膜 炎 菌 感 染 疾 患	3	2	4	1	3	-
急 性 灰 白 髄 炎	2	2	2	1	1	-
麻 疹	17	41	13	42	27	-
チ フ ス お よ び そ の 他 の リ ケ ッ チ ア 症	-	-	-	-	1	-
マ 毒 性 赤 痢 吸 器 系 の 結 核	96	93	87	51	43	11
そ の 他 の 伝 染 病 お よ び 寄 生 虫 病	148	303	184	99	131	8
悪 性 新 生 物 (リンパ 及 び 造 血 組 織 の 抗 生 物 を 含 む)	6 748	6 934	7 131	7 173	7 350	635
良 性 お よ び 性 質 不 詳 の 新 生 物	393	436	435	424	491	44
糖 尿 病	329	380	379	384	475	55
ビ タ ミ ン 欠 乏 症 お よ び そ の 他 の 栄 養 欠 乏 症	-	-	-	37	32	3
貧 血	69	84	101	85	116	8
活 動 性 リ ウ マ チ 熱	71	66	61	46	62	7
慢 性 血 管 性 心 疾 患	32	33	31	23	36	2
高 血 圧 性 心 疾 患	191	190	214	206	188	19
虚 血 性 心 疾 患	1 022	1 092	973	1 041	940	125
そ の 他 の 心 疾 患	1 304	1 333	1 423	1 713	1 719	212
脳 血 管 性 心 疾 患	2 409	2 327	2 543	2 554	2 724	356
そ の 他 の 心 疾 患	7 261	7 557	7 463	7 548	7 714	823
イ ン フ ル エ ン ザ 炎	190	7	18	104	102	53
肺 支 気 管 炎	1 552	1 309	1 361	1 437	1 370	232
気 管 支 炎	294	224	207	779	793	119
消 化 性 潰 瘍	558	530	509	507	521	57
虫 垂 炎	31	45	35	23	36	5
腸 閉 塞 お よ び 硬 便	214	228	222	254	209	19
肝 炎 お よ び 胆 嚢 炎	737	790	844	925	1 018	107
前 立 腺 炎	632	603	607	643	662	64
流 産	37	35	23	36	30	4
そ の 他 の 妊 娠 、 分 娩 、 産 褥 の 合 併 症	1	2	-
そ の 他 の 妊 娠 、 分 娩 、 産 褥 の 合 併 症	123	97	119	117	116	12
先 天 性 異 常	386	307	354	389	382	37
出 生 時 損 傷 、 難 産 及 び そ の 他 の 無 酸 素 症 、 低 酸 素 症	216	200	193	296	270	18
そ の 他 の 周 産 期 の 死 因	810	636	709	623	587	62
症 状 お よ び そ の 他 の 診 断 不 明 確 の 状 態	3 033	2 998	3 008	2 733	2 646	326
そ の 他 の 死 因	2 827	2 826	2 851	2 571	2 749	289
自 他 の 車 禍	811	887	845	967	1 038	79
自 他 の 不 慮 の 事 故	1 379	1 393	1 441	1 208	1 261	122
自 他 の 他 の 外 因	1 024	1 164	1 077	963	1 057	87
自 他 の 他 の 外 因	151	148	188	292	341	29

資 料 厚生省大臣官房統計調査部「人口動態統計月報」

死 亡 者 数

年1月から分類改正されたので組替えてある。

和	44 年											
	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
3 172	3 522	3 012	2 936	2 850	3 118	3 290	2 659	2 955	3 210	3 693		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	
36	23	23	10	25	31	45	20	21	21	57		
116	134	118	103	110	111	134	119	101	111	140		
6	4	3	7	5	6	9	5	3	5	9		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
-	1	8	1	3	4	4	-	-	2	6		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2	3	3	2	1	2	3	4	5	7	2		
2	10	5	11	14	15	26	10	3	6	4		
548	566	545	600	593	614	706	567	595	619	616		
38	41	34	32	41	54	42	35	35	27	44		
47	40	26	32	39	37	38	29	28	36	45		
3	4	4	6	3	2	3	1	4	2	1		
9	9	8	12	6	13	12	3	5	9	9		
5	4	5	6	6	5	3	5	2	7	2		
1	4	2	-	3	2	3	3	3	6	1		
20	20	17	10	14	19	14	14	16	16	15		
82	71	84	62	74	91	58	39	75	92	92		
145	179	127	132	104	113	124	120	124	169	158		
253	252	205	204	191	187	214	154	176	204	272		
639	797	571	570	554	599	582	575	611	638	731		
26	7	-	-	1	1	2	-	-	1	9		
117	117	85	75	80	120	117	76	71	87	139		
82	91	76	56	44	48	37	52	55	53	94		
36	45	41	39	39	35	40	35	38	43	57		
2	3	3	2	1	3	6	1	3	3	3		
10	17	20	16	19	15	15	14	18	20	18		
72	93	82	67	72	70	97	55	84	91	107		
45	55	58	70	42	59	54	43	44	53	65		
2	1	6	-	2	4	1	2	3	4	3		
1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
9	11	10	11	6	7	14	12	4	9	9		
25	33	43	30	27	37	33	30	28	20	37		
41	13	28	18	20	26	32	37	16	27	27		
38	49	52	50	58	49	56	43	58	55	46		
230	281	218	191	166	182	192	147	211	259	271		
213	236	196	198	198	245	262	155	204	228	235		
86	88	90	75	65	78	106	79	96	102	97		
94	105	97	92	98	110	123	83	92	95	133		
78	84	99	116	96	92	65	67	83	77	95		
22	29	20	29	30	31	30	29	18	25	43		

第30表

幼児、児童、生徒の平均体格

本表は「学校保健統計調査」による府下学童の平均体格を示している。

Table with columns for age (年), sex (性別), school level (学年), and physical measurements (身長, 体重, 胸囲, 座高) for various years (昭和30年, 昭和35年, 昭和44年).

資料 大阪府企画部統計課「学校保健統計調査」

第31表

幼児、児童、生徒の比体重、比胸囲、比座高

前表頭注参照のこと。比体重=体重/身長×100 比胸囲=胸囲/身長×100 比座高=座高/身長×100 で小数点2位を4捨5入してある。

Table showing ratios of weight, chest circumference, and sitting height for different age groups (幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校) and years (昭和35年, 昭和44年).

資料 大阪府企画部統計課「学校保健統計調査」

第32表

幼児、児童、生徒の疾病異常該当者率

前表頭注参照のこと。但し、本表は受検人員に対する該当者率を算出。該当者率は小数点2位を四捨五入してある。なお、ゴシツク体は受検率である。

Table showing disease and abnormality rates for various categories (一般検診, 栄養, 背柱異常, etc.) across different school levels and years.

資料 大阪府企画部統計課「学校保健統計調査」

第33表 摂取栄養量(1人1日当り)

本表は「国民栄養調査」によるもので調査時期は年4回5、8、11月および翌年2月の各月とも連続した3日間の状況で年平均である。39年からは法規則の改正により年一回となった。栄養量はすべて調理による損耗を考慮していない。なお39年栄養価算定の成分表の改訂が行われた。

Table with columns for nutrient types (e.g., 純熱, 蛋白質, 炭水化物) and years (昭和38年, 昭和39年, 昭和40年, 昭和41年, 昭和42年, 昭和43年). Rows list various nutrients and their units (g, cal, mg, IU).

資料 大阪府衛生部食品衛生課「国民栄養調査」

第34表 府県別医療施設関係者数

本表は各年現在数で1), 2), 3)は実務に従事するものである。4)は「医療施設調査」によるものであるが、ここでは歯科診療所を含まない。

Large table showing medical facility personnel counts by prefecture (府県) and facility type (施設). Columns include 医師 (内科, 外科, 小児科, 産科), 歯科医師, 薬剤師, 保健婦, 助産婦, 看護婦, 看護士, 病院長, 一般診療所.

資料 厚生大臣官房統計調査部「医師、歯科医師、薬剤師調査」「衛生行政業務報告」「日本統計年鑑」

第23章

司法および警察